

家庭ごみ 5 8 5

藤井 貴宏

ほんとはね君を愛おしくてたまらないんだよ 不安なんだよ きみが

いなくなっちゃうことが 僕ら精一杯生きてきてこれだけの価値観

不安要素がいっぱい 鏡の中に弾を仕込んで殺してしまいたいさ 記憶を

なんでって今の現実には飽き飽きしてるから 封じられた世界で生きてきて

何も得られなかった少年 絵を描くことさえ許されない そんな自分をやっつけたい

羽を伸ばして飛んで行け 仕方のない作業の連続 できないから変わってくれるの？

あなたが？頑張って精一杯のこととしてこれっぽっちの糧でどうしてくれる。

私のこれからの人生を もし許されるのであれば傷を抱くことだろふ・・・

悲しみの十字架で狭まられたところは窮屈で何も求めてない ただあなたという

光に乗っかって 向かってるんだ

こころは自由だ